

平成 28 年度県立川崎工科高等学校 不祥事ゼロプログラム検証結果

取組課題	目 標	行 動 計 画	検証結果
法令遵守意識の向上	公務外非行の防止、職員行動指針の遵守を図る	①職場研修を実施する。 ②職場での円滑な人間関係の形成を日頃より心がける。 ③教育公務員としての自覚を持つとともに社会人としてのマナーやモラルを守って生活するよう日頃より心がける。 ④管理監督者は、職場の良い雰囲気づくりに留意し、個々の教職員への助言・指導を心がける。	B (概ね良好)
わいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつ・セクハラ行為を未然に防止する	①アンケートを実施し、実態を把握する。 ②職員が主体的に職場研修会を実施し、セクハラ、わいせつ行為の未然防止に努める。 ③チェックリストによる点検を実施する。	A (良好)
体罰、不適切指導の防止	生徒の人権に配慮し体罰・不適切指導を未然に防止する	①啓発資料（事例集）等で研修会を実施し、体罰・不適切指導の根絶を図る。 ②校内人権研修会などを通して、生徒の人権に配慮した指導の徹底を図る。 ③チェックリストによる点検を実施する。	A (良好)
成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	成績関係書類及び進路関係書類の作成・発行における事故を防止する。	①成績処理において全職員で一斉点検を実施する。 ②成績一覧表や調査書作成等の点検マニュアルを再確認し、ミス根絶する。 ③書類の作成・発行においては複数教員で対応し、疑問点を発見したら必ず報告する。 ④チェックリストによる点検を実施する。	A (良好)
個人情報等情報セキュリティ対策	個人情報等重要情報の適正な管理体制を確立し、当該情報の流失を未然に防止する	①本校個人情報管理運用規定に基づき点検を日常的に行うよう徹底する。 ②個人情報が含まれる文書等には必ずパスワードを設定する。 ③不要文書等の廃棄においては、複数職員での確認と文書廃棄の起案を起こす。また、シュレッダーには誤廃棄防止の喚起文書を貼る。 ④チェックリストによる点検を実施する。	B (概ね良好)
入学者選抜に係る事故防止	採点誤り・書類の誤配付等の事故の無い入学者選抜を実施する。	①入選組織を根本的に見直し、ミスが起こりにくい業務遂行体制を構築する。 ②教育委員会の基本マニュアルに基づいて本校の入選マニュアルを改訂し、新採点システムに応じた的確な点検体制を確立させ、正確なステップを踏み、入選業務を執行する。	A (良好)
会計事務等の適正執行	公費、私費、現金管理における事故の発生を未然に防止する	①公費、私費の取り扱いと執行については、常に厳正・適正に処理する。 ②私費会計の執行手順を事故防止研修で確認し、私費会計適正執行について全職員に徹底する。 ③部費会計担当者を中心に部費・合宿会計適正執行を徹底する。 ④財務事務調査結果をもとに全職員を対象にした研修を実施する。 ⑤中間監査(10月)定期監査(4月)の監査結果を確実に会計処理に反映させる。	A (良好)